

稲作情報 No.8

水稻生育・大豆播種

水田農業レベルアップ委員会 技術普及推進部会 [作成:福井県農業試験場、福井米戦略課、JA福井県中央会]

5月下旬の日射不足の影響等により、全体的に生育は平年並み～小さく、葉色も平年よりも淡い傾向です。

[水稻]

- ・ **茎数の少ない圃場は、特に浅水管理を心がけ、分げつの発生を促しましょう。**
- ・ **目標茎数を確保した、ハナエチゼン・いちほまれは中干しを開始しましょう。**
- ・ **中干し前には、今後の水管理を円滑にし、夏場の節水につなげるため、溝切りを実施しましょう。**

[大豆]

- ・ **排水対策が終了した圃場は、天候を確認し、速やかに播種を行きましょう。**

○農業試験場の生育（6月5日撮影）



○中干し開始の目安となる茎数（目標茎数）

	目標茎数（本/m ² ）
移植いちほまれ	400
直播いちほまれ	350
ハナエチゼン	400
移植コシヒカリ	350～380
直播コシヒカリ	300
あきさかり	420



○溝切りの効果

- ・ 円滑な落水を促し、中干しの効果を高める
- ・ 円滑な入水を促し、少ない水でも圃場全体に均一に水を行きわたせる
- ・ 高低差がある圃場での入排水を円滑にする



県下一斉の畦畔草刈り実践デー

1回目 6月21日（土）、22日（日）

2回目 7月5日（土）、6日（日）

地域ぐるみの草刈りで斑点米カメムシの発生や
帰化アサガオ類を減らしましょう。



クモヘリカメムシ

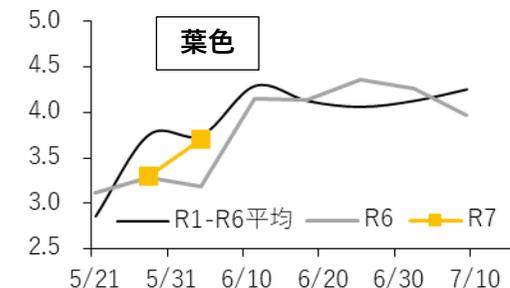
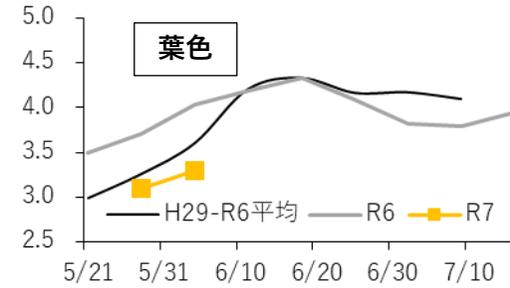
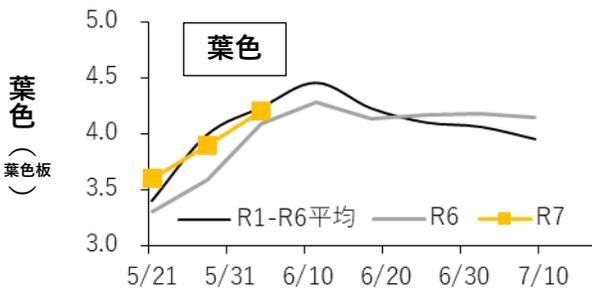
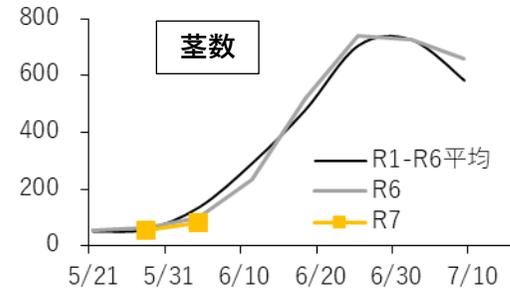
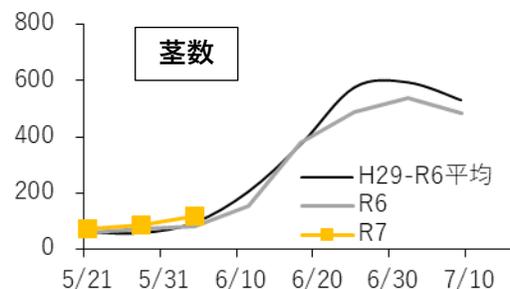
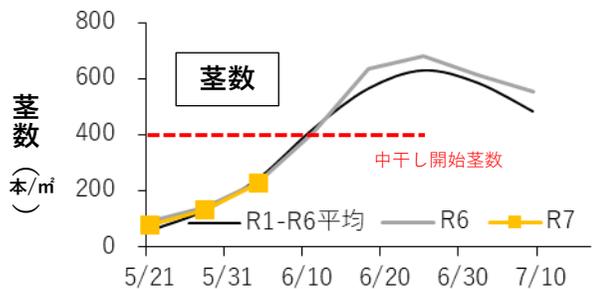
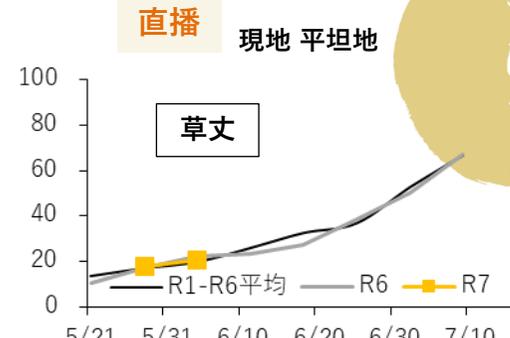
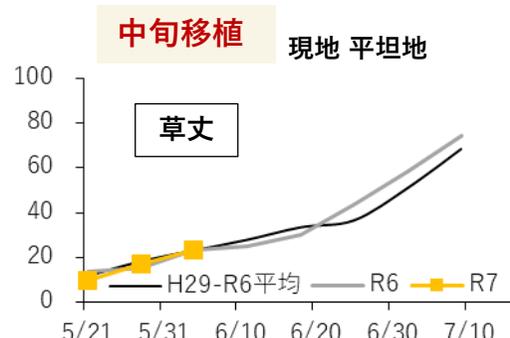
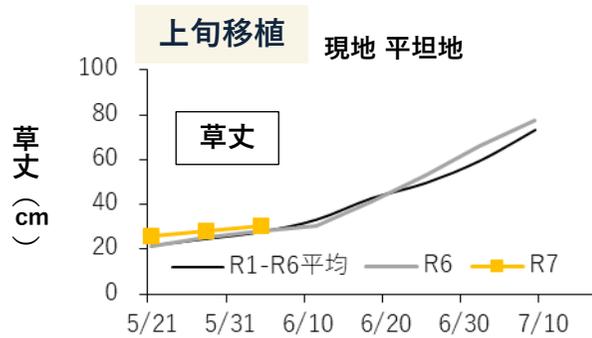


アサガオ類



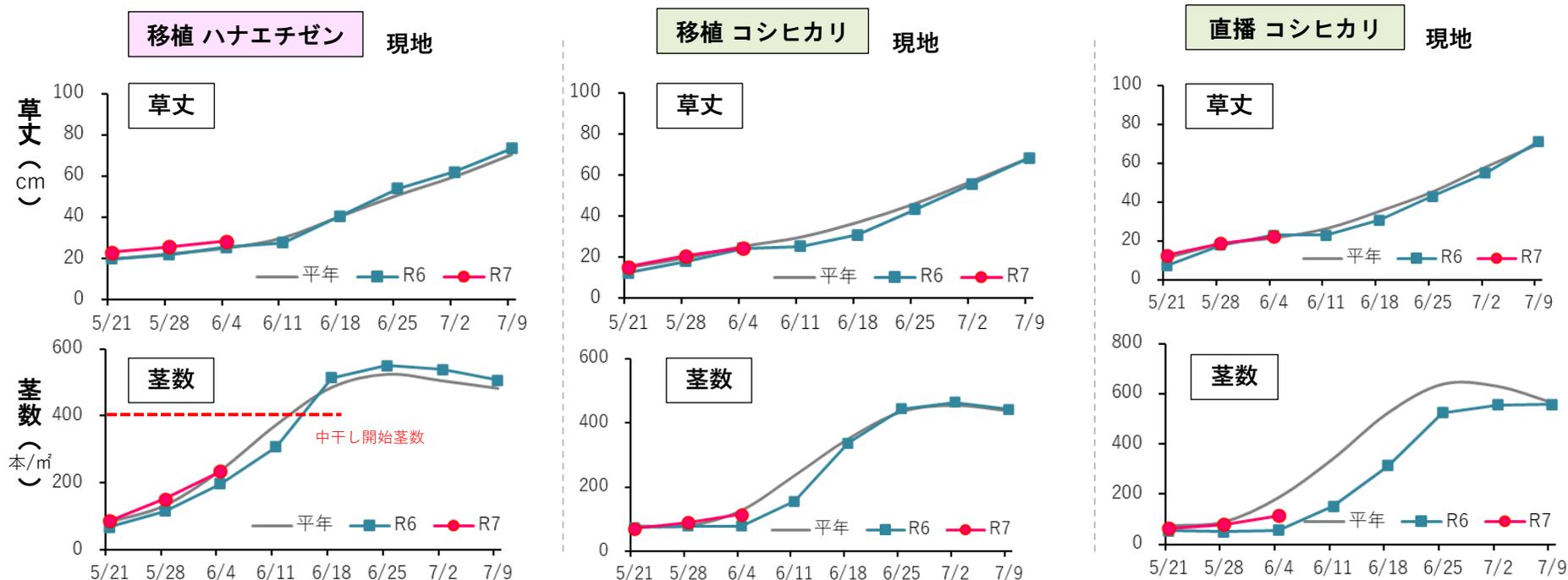
マルバルコウ

いちほまれ生育状況（令和7年6月4日調査）



	農業試験場		現地 平坦地			現地 中山間地	
	上旬移植 5/1	中旬移植 5/20	上旬移植 5/2	中旬移植 5/18	直播 5/4	中旬移植 5/17	直播 5/14
栽培方法 時期	上旬移植 5/1	中旬移植 5/20	上旬移植 5/2	中旬移植 5/18	直播 5/4	中旬移植 5/17	直播 5/14
地点数	1	1	6	8	8	2	1
草丈 cm	31.6	24.2	30.2	23.0	20.6	21.5	-
茎数 本/mi	558.5	101.9	229.1	116.4	83.1	146.0	-
葉色 葉色板	4.2	3.7	4.2	3.3	3.7	3.3	-

ハナエチゼン・コシヒカリ・あきさかり 生育状況（令和7年6月4日調査）



品種	ハナエチゼン			コシヒカリ						あきさかり				
	調査場所	農業試験場	JA坂井農場	現地	農業試験場	JA坂井農場		現地（慣行栽培）		現地（特別栽培）	農業試験場	JA坂井農場	現地	
栽培方法 移植・播種時期	移植 5/1	移植 5/1	移植 4/29	移植 5/20	移植 5/15	直播 5/7	移植 5/16	直播 5/3	直播 5/10	移植 5/1	移植 5/20	移植 5/15	移植 5/16	
地点数	1	1	8	1	1	1	15	4	1	1	1	1	3	
草丈 cm	本年	31.1	28.0	28.4	25.7	26.4	22.3	24.7	22.2	24.4	29.3	21.3	26.4	21.2
	平年	29.8	27.0	25.2	26.1	26.7	22.0	25.2	21.7	23.6	29.2	23.3	21.9	24.8
茎数 本/m ²	本年	562.6	260.3	234.3	96.7	89.2	128.7	115.5	113.7	87	468.0	104.0	92.8	94.3
	平年	461.4	279.2	236.9	222.0	124.0	141.8	127.6	185.5	194	449.6	208.8	122.6	162.4
葉齢 枚	本年	8.6	8.7	7.3	4.9	6.1	4.6	4.7	4.7	4.0	8.2	5.0	6.3	4.6
	平年	8.2	7.4	7.0	6.2	5.3	4.6	5.2	4.9	4.7	8.1	6.0	5.0	6.3
葉色 葉色板	本年	4.5	4.3	4.4	3.9	4.0	4.2	3.6	3.6	2.5	4.3	4.0	4.6	3.8
	平年	4.8	5.1	4.7	4.3	4.2	4.1	3.9	4.2	3.8	4.8	4.4	4.0	4.4

「熱中症対策の強化について」

令和7年6月1日に改正労働安全衛生規則が施行され、「職場における熱中症対策の強化」が義務化されました。これから特に暑くなります。農業現場においても対応を強化しましょう。

現場における対応

熱中症のおそれがある労働者を早期に見つけ、その状況に応じ、迅速かつ適切に対処することにより、熱中症の重篤化を防止するため、以下の

「体制整備」、「手順作成」、「関係者への周知」が

事業者に義務付けられます。

1

「熱中症の自覚症状がある作業員」や

「熱中症のおそれがある作業員を見つけた者」が

その旨を報告するための体制整備及び関係作業員への周知。

※報告を受けるだけでなく、職場巡視やパディ制の採用、ウェアラブルデバイス等の活用や双方向での定期連絡などにより、熱中症の症状がある作業員を積極的に把握するように努めましょう。

2

熱中症のおそれがある労働者を把握した場合に迅速かつ的確な判断が可能となるよう、

- ① 事業場における緊急連絡網、緊急搬送先の連絡先及び所在地等
- ② 作業離脱、身体冷却、医療機関への搬送等熱中症による重篤化を防止するために必要な措置の実施手順の作成及び関係作業員への周知

※参考となるフロー図を2つ掲載していますが、これはあくまでも参考例であり、現場の実情にあった内容にしましょう。

※作業強度や着衣の状況等によっては、上記の作業に該当しない場合であっても熱中症のリスクが高まるため、上記に準じた対応が推奨されます。

※同一の作業場において、労働者以外の熱中症のおそれのある作業に従事する者についても、上記対応を講ずることとします。

農作業中の熱中症を 予防しましょう!!

農業者の
みなさまへ

夏に向けて、農作業中に熱中症になる人が増えてきます。
熱中症は正しい知識を身につけることで、適切に予防することが可能です!!

* 農作業中の熱中症 *

- 毎年、約30名の方が農作業中の熱中症により死亡
- 死亡事故の約85%が7～8月に発生している一方で3～6月にも発生



* 予防のポイント *

暑さを避ける

高温時の作業は極力避け、日陰や風通しのよい場所で作業



こまめな休憩と水分補給

喉の渇きを感じる前に、こまめに水分・塩分を補給



単独作業は避ける

複数名で作業を行う、時間を決めて連絡をとり合う



熱中症対策アイテムの活用

帽子や吸湿速乾性の衣服の着用、空調服や送風機の活用



そのほか、日々の体調管理など熱中症に負けない体づくりをしておきましょう!

農林水産省

